

# 新年

## 神崎町の更なる発展を目指して

神崎町長 椿 等



新年あけましておめでとうございませう。町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい令和5年の新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年は、ウクライナ情勢に纏わる核懸念、北朝鮮のミサイル発射、中国による台湾統一問題など、世界が平和と安全保障を危惧する年でした。国内では第8波到来と目される新型コロナウイルス感染症蔓延に加え、物価高騰が経済不安と暮らしに大きな影響を与えました。本町では、早期からワクチン集団接種を進め、オミクロン対応を昨年未までに3千人超で接種を終えています。

こうした状況下、町に元氣と活氣を取り戻そうと昨春に初開催した神崎発酵マラソンは、ご好評を頂き今春5月28日、更に充実した第2回大会を予定します。また、町独自支援として、笑顔くらし応援券や子ども商品券の配布を行うと共に各種給付金等の迅速支給、そして感染予防や経済支援策も併せて展開しています。

神崎町は、子育て支援、神崎IC周辺整備、発酵をテーマにまちづくりを進めています。圏央道4車線化とPA整備が進み、その活性化拠点「道の駅発酵の里(こうざき)」は、PAからの利便性を高める連携と施設の拡充を図るべく着々と整備を進めており、ハイウェイオアシスを想定した周辺整備を目指しています。

令和5年は、医療福祉の充実を図るため、50歳以上対象に带状疱疹ワクチン接種の助成を新たに展開し、町ホームページのリニューアル、松崎地区土地改良等による農業基盤整備、国道356号線郡踏切拡幅の県要請や基幹町道の整備による交通基盤の充実など、この町に住みたいと思えるまちづくりを目標に、少子化や人口減少に対応する、きめ細かな政策の取り組みに努めて参ります。

新しい年が皆様にとって、ご健康で幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。

